



平成 31 年 3 月 14 日

各 位

会 社 名 日本製紙株式会社
 代表者名 代表取締役社長 馬城 文雄
 (コード：3863、東証第 1 部)
 問合せ先 海外事業部長 石田 瑞徳
 (TEL. 03-6665-1005)

当社連結子会社（日本ダイナウェーブパッケージング）の収益力強化について

日本製紙株式会社（代表取締役社長：馬城 文雄、本社：東京都千代田区神田駿河台 4-6、以下「当社」）は、当社連結子会社である米国・液体用紙容器原紙事業会社「Nippon Dynawave Packaging Company, LLC」（以下「日本ダイナウェーブパッケージング」）において、下記のとおり設備工事を実施し、パルプの増産・拡販と原紙の品質向上、生産効率改善により、収益力強化を図ってまいります。

記

1. 背景と概要

当社は事業構造転換の推進においてパッケージ事業を成長分野の一つと位置付け、プラスチック減量化の流れを追い風にバリューチェーンの拡大に注力しています。その一環として 2016 年 8 月末に米国ウェアハウザー社（正式名称：Weyerhaeuser Company、本社：米国ワシントン州）から買収した日本ダイナウェーブパッケージングは、液体用紙容器原紙製造のリーディング・カンパニーとしてグローバルに製品を供給するとともに、紙パック事業を含む当社のパッケージング部門においても原紙サプライヤーとして重要な役割を担っています。

今般、日本ダイナウェーブパッケージングは世界の堅調なパルプ需要を背景に、かねてより課題であったパルプの余剰生産能力の有効活用策として、パルプを乾燥させて漉き取る設備（ドライパルプマシン）を新設し、「DYNAKRAFT™」の商標で、これまで近隣地域に限定されていた販売先をグローバルに拡げ、収益力の強化を図ることとしました。併せて、原紙の抄紙機ドライエンド工程のアップグレードにより、原紙についても印刷適性をはじめとする品質向上と生産効率の改善を目指します。

2. 工事概要

(1) 金 額	総額約 115 億円 ①ドライパルプマシン新設 約 72 億円 ②抄紙機ドライエンド工程の改造 約 43 億円
(2) 稼働時期	2020 年 5 月（予定）

3. 日本ダイナウェーブパッケージングについて

(1) 名 称	Nippon Dynawave Packaging Company, LLC
(2) 所 在 地	3401 Industrial Way, Longview, WA 98632 USA
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 J. Carpenter
(4) 事 業 内 容	牛乳・ジュース等向け紙容器の原紙、カップ容器用の原紙等の製造・加工・販売
(5) 資 本 金	2,000 千 US ドル
(6) 設 立 年	2016 年
(7) 大株主及び持株比率	当社 100%
(8) 主 要 設 備	パルプ生産設備 1 基、原紙マシン 1 台、加工機（ラミネーター） 2 台

日本ダイナウェーブパッケージングは、トータルシステムサプライヤーを標榜する当社の紙パック事業を原紙供給面で支えるとともに、近年、「紙」素材への包装材料シフトが世界的な潮流となりつつある中で、プラスチック製トレイの代替となる堆肥化可能（コンポストブル）な紙器用原紙など新製品開発にも積極的に取り組んでいます。

4. 今後の見通し

本年2月6日に公表した当期連結業績予想から変更はありません。

以 上